

日本脊椎脊髄病学会 平成 27 年度第 1 回国際委員会議事録

日 時 : 平成 27 年 4 月 16 日(木) 午前 7 時 ~ 8 時

場 所 : 福岡国際会議場 4 階 403

出席 : 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、岩崎幹季委員、大鳥精司委員、金山雅弘委員、川原範夫委員、根尾昌志委員、富士武史委員、矢吹省司委員

代理出席 : 寒竹司アドバイザー (山口大学)

欠席 : 田中雅人委員

1. English Poster Session(EPS)および Award(EPA)の選考について

前回議題と同様、今後の EPS および EPA の方向性について検討した。学会の国際化の観点から、学術集会での英語セッションの充実は重要であり、この点については理事会でも確認されているとのことであった。EPS および EPA の扱いについては、現状のままでの継続は困難との見込みから、English oral session への移行や oral での Awards(表彰)を含めて、今後学術集会プログラム検討委員会(根尾昌志担当理事)と連携して、次期学術集会徳橋会長と相談しながら検討していく方向となった。

2. 2015JSSR の招待医師について

Dr. Huang Tsung-Jen (2015 台湾脊椎外科学会会長) の出席が難しくなったため、代わりに Dr. Wen-Jer Shen を招待することとなり、招待医師は以下 4 名となった。

Dr. Wen-Jer Shen

Dr. Tian Wei (Beijin Jishuitan Hospital, 2014 COA 会長)

Dr. Wiwat Wajanavisit (タイ)

Dr. San-Huang Lee (Kyunghee University, 韓国)

2015/4/17(金)午後 7 時より、国際委員会主催の招聘者会食を行う予定である

3. JSSR アジアトラベリングフェロー急遽辞退の件について

木村浩明先生(京都大学)が海外渡航安全性を理由に 3 月末に急遽辞退され、メール審議の結果、生熊久敬先生(香川労災病院)が代わりに選出されたことが報告された。

4. 台湾のトラベリングフェローの相互受け入れについて

2015/10/4(日)~10/17(土)の 2 週間の予定で、台湾のトラベリングフェローを受け入れる。滞在費用は台湾脊椎外科学会が負担し、岡山大学とその関連病院、浜松医大・名古屋大関連病院でそれぞれ 1 週間を予定している。

5. 2015 アジアトラベリングフェローとビジティングスカラーに選出された先生方(以下、敬称略、五十音順)が委員の前で紹介され、抱負を述べられた

アジアトラベリングフェロー：生熊久敬（香川労災病院）、井上玄（北里大学）、
上井浩（日本大学）、加藤剛（東京医科歯科大学）、小林和克（名古屋大学）、
重松英樹（奈良県立医科大学）、並川崇（大阪市立総合医療センター）、
林哲生（総合せき損センター）、古矢丈雄（千葉大学）、圓尾圭史（兵庫医科大学）、
村本明生（刈谷豊田総合病院）、渡邊和之（福島県立医科大学）

ビジティングスカラー：小澤浩司（東北大学）、田中信弘（広島大学）

6. トラベリングフェロー訪問先での注意事項

フェロー訪問先より、フェロー側から訪問期間を短縮する例があり、受け入れ準備をしている側からは遺憾であるとの意見をいただいた（前回審議事項）。今後は、このような事例が無いよう月曜から金曜日までの滞在を原則義務化し、フライトを含めた訪問スケジュールを事前に事務局と国際委員長あてに提出していただくことをトラベリングフェローに周知した。

7. 次回委員会の日程

2015年5月23日(土) 7:00-8:00、神戸ポートピアホテルの予定。